点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）をいう。以下この表の都道府県の項において同じ。）の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

q　平成28年から平成30年までの各年における自団体内就職者割合の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

N　次の算式Vによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には３とし、１に満たないときは１とする。）

算式V

N＝344.83×（s－r）＋6.52

算式Vの符号

r　平成15年３月31日現在、平成16年３月31日現在及び平成17年３月31日現在における年少者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

s　平成30年１月１日現在、平成31年１月１日現在及び令和２年１月１日現在における年少者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

O　次の算式VIによつて算定した数（当該数が３を超える場合は３とする。）

算式VI

O＝｛15.43×（u－t）－1.51｝＋（4.49×u－5.92）

｛15.43×（u－t）－1.51｝に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、0.5に満たない場合は0.5とし、（4.49×u－5.92）に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、0.5に満たない場合は0.5とする。

算式VIの符号

t　人口動態統計における平成14年から平成16年までの各年における合計特殊出生率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

u　人口動態統計における平成28年から平成30年までの各年における合計特殊出生率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

P　次の算式VIIによつて算定した数（当該数が３を超える場合は３とする。）

M　次の算式IVによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には３とし、１に満たないときは１とする。）

算式IV

M＝363.64×（q－p）＋6.35

算式IVの符号

p　平成15年３月31日現在、平成16年３月31日現在及び平成17年３月31日現在における年少者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

q　平成29年１月１日現在、平成30年１月１日現在及び平成31年１月１日現在における年少者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

N　次の算式Vによつて算定した数（当該数が３を超える場合は３とする。）

算式V

N＝｛31.35×（s－r）－3.39｝＋（4.49×s－6.47）

｛31.35×（s－r）－3.39｝に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、３を超える場合には３とし、１に満たない場合は１とし、（4.49×s－6.47）に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、１を超える場合には１とし、負数となるときは０とする。

算式Vの符号

r　人口動態統計における平成14年から平成16年までの各年における合計特殊出生率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

s　人口動態統計における平成27年から平成29年までの各年における合計特殊出生率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

O　次の算式VIによつて算定した数（当該数が３を超える場合は３とす